

平成 27 年度 教育に関する事務の点検・評価報告書の概要

「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」実施状況報告書

■ 教育に関する事務の点検・評価報告書について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条では、教育委員会は毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことなどが規定されている。

この報告書は、同条に基づき作成するもので、議会へ提出するとともに公表する。

また、「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」（以下「アクションプランⅡ」という）に基づく取組状況の年次報告書としても位置付ける。

2 学識経験者の知見の活用

点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、報告書案に対して、以下の方々から意見をいただいた。

氏名	所属等
中野 靖彦	愛知教育大学名誉教授
柴田 好章	名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻教授
白井 正康	愛知教育大学理事（前教職大学院特任教授）

（敬称略）

3 点検・評価の手法・構成

- アクションプランⅡで掲げた 4 つの重点目標と、その目標を実現するための基盤となる「魅力ある教育環境づくり」に沿って 5 章構成とし、アクションプランⅡ策定後に生じた課題についても記載
- 各章では、本県において平成 27 年度に積極的に取り組んだ施策を 19 項目の主要テーマとして設定し、テーマごとに、施策の実施状況、取組の成果、課題、今後の方向性（短期：29 年度予算化を含め概ね 28 年度中に取り組むもの、長期：具体的な年度は確定していないが将来に向けて取り組むもの）を記載
- 県教育委員会の取組だけでなく、知事部局、警察、市町村教育委員会や私立学校、学校の取組も併せて掲載
- アクションプランⅡで設定した「効果指標」の達成状況について、各章の最後に記載
- 個別施策の実施状況は、一覧表形式で整理。また、本年度がアクションプランⅡの最終年度であることから、5 年間の施策の総括についても一覧表形式で整理
- 学識経験者からの意見を巻末に掲載

第 1 章 幅広い県民の参加による道徳性・社会性の向上

★：課題 ☆：27 年度実施状況

テーマ 1 いじめ問題等への対応 本冊 2P

- ★ いじめ問題等については、未然防止・早期発見・早期対応を基本に取組を強化していくことが必要
- ☆ スクールカウンセラーの継続配置、スクールソーシャルワーカーの新規配置、ネットパトロールの継続実施、電話相談の継続実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉未然防止・早期対応等の一層の推進、「生徒指導リーフ」を活用した研修の実施
- 〈長期〉スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの配置拡充、関係機関と連携して取り組む体制の整備・充実

テーマ 2 モラルの向上 本冊 6P

- ★ 子どもたちが道徳性・社会性を身に付けるためには、家庭・地域・学校が一体となった取組が必要
- ☆ 教育キャンペーン（重点テーマ：「スマートフォン・携帯電話の安心安全利用」）の実施、地域協働生徒指導推進事業におけるネットモラル啓発、Web サイト「モラルBOX」による活動内容の普及・啓発

【今後の方向性】

- 〈短期〉重点テーマを設定したキャンペーンの継続実施、自己肯定感を高める様々な体験活動の設定、「モラルBOX」による家庭・地域・学校への道徳教育の情報発信の充実
- 〈長期〉家庭・地域・学校の連携による粘り強い取組の充実

テーマ 3 幼児教育の充実 本冊 8P

- ★ 社会生活や学びの基礎となるコミュニケーション力、規範意識、基本的な生活習慣等を幼児期から適切に身に付けさせるため、質の高い幼児期の教育・保育を展開し、小学校へ円滑に接続していくことが必要
- ☆ 「幼児教育研究協議会」における保育者の資質と専門性の向上に関する研究協議と報告書作成、新規採用教員研修・10 年経験者研修における幼小連携・接続についての理解促進

【今後の方向性】

- 〈短期〉幼保連携型認定こども園の増加に伴う新規採用教員研修の在り方についての検討、幼児教育研究協議会での協議をもとにした幼児教育充実に向けた具体的な方向性や手立ての普及
- 〈長期〉幼稚園・保育所・認定こども園が共に学ぶ研修の実現

第 2 章 発達段階に応じたキャリア教育の充実

テーマ 4 職場体験活動・インターンシップ等の推進 本冊 16P

- ★ 人間関係を築く力や課題を発見・解決していく力を育むためには、小・中学校、高校等においてキャリア教育に系統的に取り組むことが必要
- ☆ 小・中学校、高校、特別支援学校における職場体験・インターンシップ、専門高校等におけるプロによる指導、工業高校における企業実習の実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉小・中学校全校における系統的なキャリア教育の一層の推進、普通科高校における取組の強化、特別支援学校における「就労支援アドバイザー」を活用した実習先の拡大・就職率向上
- 〈長期〉地域・産業界・関係機関との連携体制の構築、高校専門学科における長期インターンシップの実施、特別支援学校における新たな就労支援システムの構築

テーマ5 産業教育の充実 **本冊 22P**

- ★ 技術の高度化や社会経済の国際化などの時代の変化に適切に対応できる産業人材の育成のため、産業教育の計画的な充実が必要
- ☆ 専門高校生の活躍を幅広く紹介する「あいちさんフェスタ」の開催、地域の企業と連携した技能習得講座の開催、愛知総合工科高等学校の開設準備（専攻科の「公設民営化」を目指した国家戦略特区の提案）

【今後の方向性】

- 〈短期〉各地域の産業団体や市町村との連携の推進、「あいちサンフェスタ」のほか生徒の発表の場の積極的な設定
- 〈長期〉長期的な視点に立った産業教育施設・設備の整備計画の策定と計画的な更新・整備、産業現場の第一線での活躍経験をもつ人材を活用する「ものづくりサポーターバンク制度」の導入

テーマ6 グローバル化への対応 **本冊 26P**

- ★ グローバル化の進む社会で活躍できる人材を育成するため、コミュニケーション力の向上、日本の歴史や文化に対する理解、諸外国の文化への理解が重要
- ☆ スーパーイングリッシュハブスクール事業を通じた高校と小・中学校の連携による地区全体の英語力の強化、イングリッシュキャンプ in あいちによる英語への自信・興味・関心の向上、高校生の海外留学等の促進、オーストラリア・ビクトリア州と連携した英語教員の英語力向上

【今後の方向性】

- 〈短期〉小学校英語科の指導と評価の研究、高校と小・中学校の連携促進、英語科教員の資質と指導力向上
- 〈長期〉自国及び他国の歴史や文化について理解し、尊重する態度の育成、多文化共生社会で求められる強い精神力・他者に対して共感する力の育成

第3章 学習意欲の向上・確かな学力の育成**テーマ7 学力の向上** **本冊 34P**

- ★ 本県の小・中学校の児童生徒において、「教科の学習への関心が低い」「学力調査の結果の活用が全国に比べ低い」等の課題が明らかになる中、学校において子どもたち一人一人に目の行き届いた指導を行うことが一層必要
- ☆ 小1、小2、中1で少人数学級を継続実施、学力調査の結果を分析し改善指針と方策を提示、学力向上に向けた調査研究の推進と成果の周知、教員の指導力向上のための研究協議の実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉少人数学級・少人数指導の継続実施、調査研究の成果の県全体への普及・啓発、義務教育問題研究協議会作成の手引を活用した地域と学校の連携強化
- 〈長期〉国の定数改善を踏まえた少人数教育の推進の在り方の検討、地域・家庭・大学等と学校が一体となって学力向上を進める仕組みづくり、小学校の英語科導入に向けた研究実践校の成果の周知

テーマ8 多様な学びを保障する学校づくり **本冊 40P**

- ★ 10年後を見据えた愛知県の高等学校づくりのために策定した「県立高等学校教育推進基本計画」をもとに、平成27年度から平成31年度までを計画期間とした第1期実施計画を策定
- ☆ 県立高等学校教育推進実施計画の検討委員会の開催

【今後の方向性】

- 関係部局との協力、家庭・地域や小・中学校、大学や産業界との密接な連携・協力の下での取組の推進

テーマ9 特別支援教育の充実 **本冊 48P**

- ★ 特別支援学校の規模の過大化、長時間通学、障害の重度・重複化や多様化、発達障害等の児童生徒への支援、インクルーシブ教育の実施など、特別支援教育を取り巻く様々な課題への対応が必要
- ☆ 豊橋市立くすのき特別支援学校・名古屋市立南養護学校分校の開校、新設校整備に向けた計画的な取組、スクールバスの増車、「就労アドバイザー」の配置、「肢体不自由児スクールクラスターモデル事業」の実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉知多地区・尾張北東地区の新設校の開設準備、スクールバスの増車、知的障害特別支援学校への職業コースの設置拡大、教員研修や指導事例集を活用した教員の指導力向上、個別の教育支援計画等の作成・引継率向上
- 〈長期〉「愛知県特別支援教育推進計画」に基づいた施策の実施及び進行管理

テーマ10 日本語指導が必要な子どもたちへの支援 **本冊 52P**

- ★ 全国最多の外国人児童生徒に対する日本語指導や学校生活等への支援が必要
- ☆ 語学相談員の配置、日本語教育適応学級担当教員の配置、外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる入学選抜の実施校追加、外国人生徒教育支援員の県立高校への配置、「外国人児童生徒等による多文化共生日本語スピーチコンテスト」の開催、「あいち外国人の日本語教育推進会議」の開催

【今後の方向性】

- 〈短期〉日本語初期指導プログラムの作成、日本語指導に関わる教員の資質向上と人的配置の拡大、「日本語学習支援基金」の再造成による日本語教室や外国人学校への支援
- 〈長期〉日本語学習支援の充実、日本語指導に関わる諸機関の連携による支援員確保の仕組みづくり

第4章 豊かな人生を送るための生涯学習の充実**テーマ11 生涯学習の推進** **本冊 60P**

- ★ 県民一人一人が自発的・主体的に学び続け、その成果を生かしていく環境の提供が必要、超高齢社会で豊かな高齢期を過ごすための具体的な施策の効果的な展開が必要、子どもの読書活動の推進が必要
- ☆ 「生涯学習審議会」による超高齢社会に対応した施策の方向性について建議、シニア地域デビュー支援事業の実施、ユネスコスクール活性化事業の実施、愛知県子ども読書活動推進大会の開催

【今後の方向性】

- 〈短期〉「学びネットあいち」の学習コンテンツの一層の充実、読書に親しむ活動やユネスコスクールの活動の活性化等の継続
- 〈長期〉「超高齢社会に対応した生涯学習の在り方」の提言を生かした生涯学習施策の推進、次期「生涯学習推進計画」策定のための検討

テーマ12 伝統文化の保存・活用 **本冊 64P**

- ★ 本県における歴史的価値の高い文化財、地域に根ざした様々な祭りや民俗芸能等の魅力を広く県民に発信するとともに、本県が誇る文化財の一つである朝日遺跡を適切に保存・公開・活用していくことが必要
- ☆ 清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備にかかる計画や基本構想の策定、朝日遺跡の魅力を発信する様々な事業の実施、あいち山車まつり活性化事業の実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉山車文化の魅力発信と気運高揚、朝日遺跡整備計画の具体化と魅力の更なる普及・啓発
- 〈長期〉「山車まつり」を始めとした本県の多様な伝統文化の県民への普及・啓発、地域活性化に向けた朝日遺跡の計画的な整備と活用、文化財の適切な保存・活用

テーマ13 スポーツの振興 **本冊68P**

- ★ 本県の児童生徒の体力は全国平均を下回っており、スポーツをする子としない子の二極化が顕著、県民がスポーツの魅力を感じることができる国際的なスポーツ大会等の招致・開催が必要
- ☆ 「子どもの体力向上運動プログラム」の普及並びにそれを活用した子どもスポーツふれあい事業の実施、2020年東京オリンピックに向けた競技力向上・スポーツ人材育成の取組

【今後の方向性】

- 〈短期〉アジア競技大会誘致への取組、岡崎総合運動場に係る岡崎市との調整
- 〈長期〉「子どもの体力向上運動プログラム」の着実な普及、地域における生涯スポーツ社会実現への取組の推進、様々な国際大会の招致・開催に向けた取組の推進

テーマ14 家庭教育の充実 **本冊72P**

- ★ 地域のつながりの希薄化や家族形態の多様化等が進む状況の中、家庭や地域の教育力を高めていくことがますます重要
- ☆ 「親の学び」学習プログラムを活用した研修会や交流会の実施、朝食の献立づくり・調理を競う「わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」の実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉家庭教育に関する講座の様々な機会・場所での設定、地場産物の活用例や郷土料理等を紹介する給食試食会や料理教室等の開催、高校生への食育の推進
- 〈長期〉家庭教育支援に関係する諸機関との連携・協働、「体」「心」「環境」に視点をおいた食育の推進

第5章 魅力ある教育環境づくり**テーマ15 学校施設の耐震化・老朽化対策** **本冊78P**

- ★ 非構造部材、特に体育館の吊り天井の落下防止対策と、老朽化した校舎の長寿命化によるトータルコスト削減や事業費の平準化などに中長期的に取り組んでいくことが必要
- ☆ 県立学校のBランク建物の耐震改修工事と体育館吊り天井落下防止対策工事の実施

【今後の方向性】

- 〈短期〉平成28年度に県立学校のBランク建物の耐震化及び体育館吊り天井の落下防止対策を完了、吊り天井以外の非構造部材の耐震対策の実施、「愛知県公共施設等総合管理計画」に基づく県立学校施設の個別施設計画の策定
- 〈長期〉個別施設計画に基づく老朽化対策の実施

テーマ16 教員の確保と資質の向上 **本冊82P**

- ★ 新規採用教員が増加する中、若手及び中堅教員の育成と、教員が健康を害さず本来の教育活動に取り組むために多忙化を解消することが大きな課題
- ☆ 教員採用選考試験における特別選考の充実、教育研究を通したリーダー養成研修の実施、教員の不祥事根絶に向けた取組

【今後の方向性】

- 〈短期〉教員採用選考試験における「小学校英語特別選考」等の新設・追加、教員研修の内容、在り方等についての検討、教員の不祥事防止についての更なる取組、教員の多忙化解消に向けた取組
- 〈長期〉教員育成指標の策定とそれに基づいた教員研修計画の策定、教員研修の充実に向けた教育委員会事務局及び総合教育センターの体制強化、教員の多忙化解消に向けた実効性ある取組の充実

テーマ17 開かれた学校づくり **本冊86P**

- ★ 子どもたちに生きる力を育み、地域から信頼される学校づくりを進めるために、学校と地域の連携・協働、異なる学校種間・設置者間の連携が必要
- ☆ 5市町の学校支援助地域本部への支援、同じ地域にある幼保・小・中が連携して活動する「学校連携仲間づくり推進事業」の実施、「あいちの学校連携ネット」による大学生ボランティア募集等の情報発信

【今後の方向性】

- 〈短期〉中学生対象の地域未来塾の実施と拡大、地域コーディネーター配置の支援、「あいちの学校連携ネット」の充実
- 〈長期〉地域学区協働本部の組織化と学校への活用、異校種間の連携の推進

テーマ18 教育行政の推進 **本冊90P**

- ★ 平成27年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（地教行法）が一部改正され、全ての地方公共団体が首長と教育委員会を構成員とする「総合教育会議」を設置し、首長が教育に関する「大綱」を策定することとなった。
- ☆ 総合教育会議の開催、「大綱」の策定、「あいちの教育ビジョン2020—第三次愛知県教育振興基本計画—」の策定、教育委員会事務局組織の見直し

【今後の方向性】

- 〈短期〉体系的な教員研修計画を推進していくための教育委員会事務局内の組織体制の検討
- 〈長期〉「あいちの教育ビジョン2020—第三次愛知県教育振興基本計画—」に基づき教育委員会事務局と知事部局が連携した取組の推進

テーマ19 私立学校の振興 **本冊92P**

- ★ 県が私学の振興を重点施策として全国的にも高水準の助成策を講じているなか、公立高校の募集に当たっては、公私間の連携強化が必要
- ☆ 総合教育会議の開催、「大綱」の策定、「あいちの教育ビジョン2020—第三次愛知県教育振興基本計画—」の策定、教育委員会事務局の見直し

【今後の方向性】

- 〈短期〉これからの公私の在り方についての公私間協議と具体的な対策の検討
- 〈長期〉県と私学が連携した魅力ある高校づくりの推進

■ アクションプランⅡで設定した効果指標の達成状況（目標年度：平成27年度）

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
目標達成数（太枠）	1項目	4項目	3項目	3項目	4項目

第1章（重点目標1） 幅広い県民の参加による道徳性・社会性の向上

本冊 12P

効果指標	目標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
① 全国学力・学習状況調査で「道徳性」「社会性」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校） ・地域行事への参加、きまり・約束を守る、手助け、あいさつ、いじめ	全ての項目で全国平均を上回る（毎年度）	大震災により全国調査中止	7項目中、小中ともに4項目で上回った	7項目中、小は5項目、中は3項目で上回った	5項目中、小は3項目、中は2項目で上回った	4項目中、小は3項目、中は1項目で上回った
② 本県実施の調査で「道徳性」「社会性」に関する項目に肯定的に答えた生徒数の割合（高等学校）	85%	—	時間を守る 87.7% 学校のきまりを守る 90.5% ことは大切である	—	きまりを守る 80.7% 約束やきまりを守る 96.5% ことは大切である	—

⇒ 小学校、中学校共に「学校のきまり（約束）を守っているか」に対しては、4年連続で全国平均を上回っている。

第2章（重点目標2） 発達段階に応じたキャリア教育の充実

本冊 30P

効果指標	目標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
③ キャリア教育の年間指導計画を作成している学校の割合（小・中学校）	100%	—	小 48.6% 中 81.3%	小 54.2% 中 78.3%	小 81.7% 中 98.6%	小 100% 中 100%
④ インターンシップ等を実施する全日制県立高等学校の割合（21年度 73.2%）	100%	100%	100%	100%	100%	100%
⑤ 特別支援学校高等部卒業者の一般就労の就職率（21年度 38.4%）	50%	37.7%	39.6%	38.1%	36.7%	39.9%
⑥ あいち夢はぐくみサポーターの登録数（23年度新規事業）	前年度に比べて増加する（毎年度）	23事業所	349事業所	814事業所	1,241事業所	1,495事業所
⑦ 全国学力・学習状況調査で「勤労観・職業観」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校） ・将来の夢や目標、家の手伝い	全ての項目で全国平均を上回る（毎年度）	大震災により全国調査中止	小中ともに2項目全て下回った	小中ともに2項目全て下回った	1項目のみであったが、小中ともに下回った	1項目のみであったが、小中ともに下回った

⇒ 小・中学校の「キャリア教育年間指導計画」作成の学校割合が、100%となった。「あいち夢はぐくみサポーター」の登録数も伸びてきている。

第3章（重点目標3） 学習意欲の向上と確かな学力の育成

本冊 56P

効果指標	目標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
⑧ 全国学力・学習状況調査で「学習意欲」に関する項目に肯定的に答えた児童生徒数の割合（小・中学校） ・学校の授業時間以外の勉強時間、国語、算数・数学への取組	全ての項目で全国平均を上回る（毎年度）	大震災により全国調査中止	3項目中、小は1項目で上回り、中は2項目で上回った	3項目中、小は全ての項目で下回り、中は2項目で上回った	3項目中、小は全ての項目で下回り、中は2項目で上回った	3項目中、小は全ての項目で下回り、中は2項目で上回った
⑨ 高大連携を実施している高等学校の割合（21年度 19.2%）	50%	42.7%	—	74.8%	76.2%	75.7%

⇒ 中学校で「1日当たり1時間以上勉強する」「数学の問題を解くときにもっと簡単に解く方法を考える」に対しては、4年連続で全国を上回った。

第4章（重点目標4） 豊かな人生を送るための生涯学習の充実

本冊 74P

効果指標	目標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
⑩ 生涯学習支援ボランティアの個人登録件数（22年度 214人）	400人を上回る	211人	227人	297人	305人	320人
⑪ 生涯学習情報システムのアクセス件数（22年度 541万件）	前年度に比べて10%増加する（毎年度）	580万件 ⇒7%増	750万件 ⇒29.3%増	797万件 ⇒6.3%増	453万件 ⇒43.2%減	199万件 ⇒56.1%減
⑫ 生涯学習活動の状況（公立図書館の県民一人あたりの貸出図書冊数・公立図書館のレファレンス（資料相談）件数）（※）	全ての項目で前年度を上回る（毎年度）	貸出 6.59冊 ⇒0.02冊増 相談 144,240件 ⇒3,038件減	貸出 6.61冊 ⇒0.02冊増 相談 136,417件 ⇒7,823件減	貸出 6.46冊 ⇒0.15冊減 相談 165,336件 ⇒28,919件増	貸出 6.21冊 ⇒0.25冊減 相談 148,213件 ⇒17,123件減	貸出 6.16冊 ⇒0.05冊減 相談 169,376件 ⇒21,163件増
⑬ 総合型地域スポーツクラブを育成している市町村数（21年度 32市町）	全市町村	46市町村	50市町村	52市町村	52市町村	51市町村
⑭ 小・中学校の体力テスト合計点の平均値	全国平均を上回る	大震災により全国調査中止	小中ともに全ての項目で下回った	小中ともに全ての項目で下回った	中学女子のみ全国平均を上回った	小中ともに全ての項目で下回った
⑮ 県文化施設の利用者数及び県が推進する文化諸施策への参加者数の対県人口比率（21年度 62.1%）	80%	55.6%	64.9%	72.6%	61.4%	56.0%

⇒ 27年度の生涯学習情報システムのトップページへのアクセス数は、前年比で1%増（187千件⇒189千件）となっている。
⇒ 公立図書館のレファレンス件数は、5年間で最も多くなっている。

※ ⑫の指標のみ、報告書作成時点で把握できる最新数値として、各年度欄は前年度の調査数値を使用